

教育ファームに関するアンケート（小・中学校用）

Q1 貴校について、お尋ねします。該当する項目を選択してください。

- ① 小学校 ② 中学校

【農林漁業に係る体験学習の取組の実態について】

Q2 学校として、農林漁業に係る体験学習活動を実施していますか。
該当する項目を選択してください。

※ここでいう「農林漁業に係る体験学習活動」とは、「食」に関わる体験とし、植林、枝打ち等の体験活動は含みません。

- ① はい ② いいえ

Q3 Q2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
その農林漁業体験活動について、以下の事項に該当するものがありますか。
学年ごとに学校内及び学校外のそれぞれの取組について、該当する項目を選択してください。

【取組方法について】

- ① 体験の際に、農林漁業者の指導を受けている。
② 同一作物について2つの作業以上の農作業等の体験を実施している。
※例えば、コメについての「田植え」と「除草作業」などの2つの作業をいいます。
③ 年間2日以上農作業等の体験を実施している。

【取組場所について】

- ④ 学校外の農地等で実施している。
⑤ 学校内農園で実施している。
⑥ プランターやバケツ等を活用したポット栽培を実施している。
⑦ その他（回答欄に具体的方法及び場所を具体的に記入してください）

Q4 Q2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「②いいえ」と回答された方にお尋ねします。
今後の農林漁業に係る体験学習活動の取組に対する意向について、該当する項目を選択してください。

- ① ぜひ、取り組みたい。
② 取り組むかどうか検討したい。
③ 取り組むつもりはない。
④ わからない。

Q5 農林漁業に係る体験学習活動に取り組むうえでの問題点がありますか。
該当する項目をすべて選択してください。（複数回答）

- ① 指導者の確保が難しい。 ② 具体的な取組方法がわからない。
③ 体験する場の確保が難しい。 ④ 時間の確保が難しい。
⑤ 経費の負担。 ⑥ その他（回答欄に問題点を具体的に記入してください）
⑦ 特にない ⑧ わからない

【農林漁業に係る体験学習の取組の効果】

Q 6 Q 2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農林漁業に係る体験学習を通して、子どもたちにどのような効果がありましたか。
それぞれの項目について、該当するものを選択してください。

- ① 体験により、学習に対して意欲をもって取り組む子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ② 体験により、問題に対して総合的に考え解決する子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ③ 体験により、お互いに協力して物事に取り組む子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ④ 体験により、物事に集中して対処できる子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ⑤ 体験により、相手の話をよく聞き、相手の立場を考えるなどコミュニケーションを取ることができる子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ⑥ 体験により、「食」に対する感謝の念や大切さを理解できる子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ⑦ 体験により、「いのち」に対して関心を示す子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ⑧ 体験により、「環境」に対して関心を持つ子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ⑨ 体験により、「地域」に対して関心を持つ子どもたちが増えた。
(ア) かなり増えた (イ) やや増えた (ウ) 変わらない (エ) わからない
- ⑩ その他に見られる目立った効果があれば回答欄に具体的に記入してください。

Q 7 Q 2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農林漁業に係る体験学習を通して、学校にどのような効果がありましたか。
該当する項目をすべて選択してください。(複数回答)

- ① 先生の意欲の向上がみられた。
- ② これまでの「地産地消の取組」や「朝ごはん摂取の取組」等の食育の取組に農林漁業に係る体験学習活動を関連付けることで、学校全体の食育推進の取組が充実した。
- ③ 農林漁業体験活動以外の取組について、先生の間での連携が図られるようになった。
- ④ 長所や短所など、それぞれの子どもの個性に対しての先生の理解が深まり、子どもに対する学習や生活の指導の参考になった。
- ⑤ その他 (回答欄に効果を具体的に記入してください)
- ⑥ 特に効果はない。
- ⑦ わからない。

Q 8 Q 2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農林漁業に係る体験学習活動は、どの教科等で行っていますか。
学年それぞれについて、該当する項目をすべて選択してください。（複数回答）

- ① 国語 ② 社会 ③ 算数(数学) ④ 生活 ⑤ 理科 ⑥ 音楽 ⑦ 図工(美術)
⑧ 体育(保健体育) ⑨ 家庭(技術・家庭) ⑩ 道徳 ⑪ 総合的な学習の時間
⑫ 特別活動 ⑬ 外国語活動(英語) ⑭ 教科外 ⑮ 学校行事
⑯ その他(回答欄に具体的に記入してください)

Q 9 Q 2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
取組において、農作物等に関する地域の方々の「知識」や地域特産物等の地域の「資源」を、取組の素材として活用していますか。
該当する項目を選択してください。

- ① はい ② いいえ

Q 10 Q 9の地域における「知識」や「資源」の活用についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
活用することで、子どもたちの学習に対する関心が高くなっていると思いますか。
該当する項目を選択してください。

- ① はい ② いいえ ③ わからない

Q 11 Q 9の地域における「知識」や「資源」の活用についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農林漁業に係る体験学習活動における取組をQ 8以外の他の教科に対して関連付けていますか。
学年それぞれについて、該当する項目を選択してください。

- ① 国語 ② 社会 ③ 算数(数学) ④ 生活 ⑤ 理科 ⑥ 音楽 ⑦ 図工(美術)
⑧ 体育(保健体育) ⑨ 家庭(技術・家庭) ⑩ 道徳 ⑪ 総合的な学習の時間
⑫ 特別活動 ⑬ 外国語活動(英語) ⑭ 教科外 ⑮ 学校行事
⑯ その他(回答欄に具体的に記入してください) ⑰ 関連付けていない

Q 12 Q 11の農林漁業に係る体験学習活動における取組の他の教科への関連付けについての問いに、
関連付けている教科を回答された方にお尋ねします。
他の教科との関連付けにより、教育効果は高まりましたか。
該当する項目を選択してください。

- ① はい ② いいえ ③ わからない

【農林漁業体験活動における地域の人材の活用】

Q 13 すべての方にお尋ねします。
農林漁業に係る体験学習活動について、地域(市町村域)の関係機関・団体等が参集し、話し合いを持つ場(協議会など)がありますか。
該当する項目を選択してください。

① はい

② いいえ

③ わからない

Q14 Q2の農林漁業に係る体験学習活動の実施についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農林漁業体験活動において、学校関係者以外の方からの協力はありますか。
該当する項目を選択してください。

① はい

② いいえ

Q15 Q14の学校関係者以外からの協力についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農林漁業に係る体験学習活動では、どこから協力を得ていますか。
該当する項目のすべてを選択してください。（複数回答）

① 農林漁業従事者

② 農林漁業団体

③ 食品事業者

④ 自治体

⑤ NPO法人

⑥ その他（回答欄に協力団体等を記入してください）

Q16 Q14の学校関係者以外からの協力についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
どの様なきっかけで、協力を得られるようになりましたか。
該当する項目を選択してください。

① 地域のサポート組織等の紹介。

② 協力相手からの学校への提案。

③ 学校関係者の個人的知り合いへの依頼。

④ 学校通信等による募集への応募。

⑤ その他（回答欄にきっかけを簡潔に記入してください）

Q17 Q14の学校関係者以外からの協力についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
協力により農林漁業に係る体験学習を行う際の先生の負担は、どの様になりましたか。
該当する項目のすべてを選択してください。（複数回答）

① 農地等の確保に係る負担が軽減した。

② 体験プログラム作成に係る負担が軽減した。

③ 子どもたちの指導に係る負担が軽減した。

④ 体験に必要な用具等の確保に係る負担が軽減した。

⑤ 体験に伴う教材作成に係る負担が軽減した。

⑥ その他（回答欄に負担が軽減された事項について具体的に記入してください）

⑦ 特に負担の軽減はない。

⑧ 連絡調整等の負担が増えた。

⑨ わからない。

Q18 Q14の学校関係者以外からの協力についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
農作業など体験学習活動における協力を契機として、学校と地域との信頼関係が深まりましたか。
該当する項目を選択してください。

① はい

② いいえ

③ わからない

Q19 Q14の学校関係者以外からの協力についての問いに、「②いいえ」と回答された方にお尋ねします。
今後、地域の他の団体等からの協力を希望しますか。
該当する項目のすべてを選択してください。（複数回答）

- ① 農林漁業従事者 ② 農林漁業団体 ③ 食品事業者 ④ 自治体
⑤ NPO法人 ⑥ その他（回答欄に協力団体等を記入してください）
⑦ 特に協力は希望しない。

【地域の時間の活用（学校外のほかの時間での取組）】

Q20 Q2の農林漁業に係る体験学習活動についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
地域において、子どもたちが学校活動以外で農林漁業体験に参加できる機会がありますか。
該当する項目を選択してください。

- ① はい ② いいえ ③ わからない

Q21 Q20の学校以外での機会についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
多くの子どもたちが学校以外での農林漁業体験活動に参加していますか。
該当する項目を選択してください。

- ① はい ② いいえ ③ わからない

Q22 Q20の学校以外での機会についての問いに、「①はい」と回答された方にお尋ねします。
学校以外に子どもたちが農林漁業体験活動に参加する機会があることによって、学校における農林漁業体験活動の効果が高まっていると思いますか。
該当する項目を選択してください。

- ① はい ② いいえ ③ わからない

ご協力ありがとうございました。

平成22年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 地方調査
農林漁業体験学習の取組（教育ファーム）に関する意識・意向調査
農業者モニター用

農林水産省
九州農政局

（平成22年5月）

本調査でご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを**回答用紙**にご記入ください。

農林漁業体験活動の意義について

- ◎ 平成17年6月に制定された「食育基本法」及び平成18年3月に閣議決定された「食育推進基本計画」では、「食」に関する関心や理解の増進を図るためには、農林水産物の生産に関する体験活動が重要とされており、「食育」を推進するうえで、自然の恩恵や食に関する人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、一連の農作業等の体験の機会を提供する「教育ファーム」の取組が重要になっています。
- ◎ 具体的には、「教育ファーム」とは、農林漁業者からの指導を受けて、同一作物について年間2日間以上にわたって、2作業以上の農作業等を体験してもらう取組をいいます。
- ◎ 平成20年度に（社）農山漁村文化協会が行ったアンケート調査では、農林漁業体験が「かなりある」と答えた子どもは、①食べ残しが少ない、②郷土への親しみを持っている、③農業に対する理解がある、④ライフスキル（生きるたくましさ）を身につけている。などの結果が出ています。

問1 「教育ファーム」について、ご存じですか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 内容を含め知っている
- 2 名前程度は聞いたことがある
- 3 知らなかった

【農林漁業体験の取組の実態と意向について】

問2 あなたの地域において、農林漁業体験活動について、地域（市町村域）の関係機関・団体等が参集し、話し合いを持つ場（協議会など）がありますか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問3 あなたは、農林漁業体験活動に取り組まれていますか。

※ ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 はい → 問4にお進みください
- 2 いいえ → 問9にお進みください

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問4 その取組は、学校と連携した取組ですか。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 はい
- 2 いいえ

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問5 その農林漁業体験活動はどの様な内容ですか。

(以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 体験の際に、農林漁業者として指導をしている
 - 2 同一作物について2つの作業以上の農作業等の体験を実施している
- ※ 同一作物の2つの作業とは、例えば、コメについて「田植え」と「除草作業」等の作業をいいます。
- 3 同一人物が年間2日以上農作業等の体験を実施している
 - 4 農地等で実施している
 - 5 学校内農園で実施している
 - 6 プランターやバケツ等を活用したポット栽培を実施している
 - 7 その他(具体的に方法及び場所を回答用紙に記入してください)

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問6 あなたの取り組まれている農林漁業体験活動について、より一層の内容充実を図るために何が必要ですか。

(以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 地域の関係者からの協力
- 2 取組経費の助成
- 3 参加者増加に向けての取組のPR
- 4 他の地域での取組に係る参考情報
- 5 その他(具体的に回答用紙に記入してください)
- 6 特にない
- 7 わからない

【農林漁業体験の実施の効果】

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問7 農林漁業体験活動の取組を通してご自身に、どのような効果がありましたか。
(以下の1～10の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農林漁業に携わっているという誇りが高まった
- 2 農林漁業に対して、より一層の意欲が出てきた
- 3 農作物等に対して、より一層の研究心が芽生えた
- 4 より多くの人との繋がりができた
- 5 消費者の考え方等が以前に比べ、より分かるようになった
- 6 コミュニケーション能力が高まった
- 7 家族が協力して取組を行うことで、家族の間の絆が深まった
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 9 特に効果はない
- 10 わからない

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問8 農林漁業体験活動の取組を通して地域（集落）に、どのような効果があったと思いますか。
(以下の1～8の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 取組以前より、地域（集落）全体の活気が増した
- 2 農林漁業体験活動をきっかけとして、都市部との人や団体等の交流が増えた
- 3 農林漁業体験以外の面での地域（集落）と学校との協力関係が深まった
- 4 地域（集落）内において、まちづくりの気運が高まった
- 5 農地の保全に繋がった
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 7 特に効果はない
- 8 わからない

【問3で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

※ 今後の農林漁業体験活動の取組に対する意向について

問9 今後、農林漁業体験活動に取り組みたいと思いますか。
(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 ぜひ、取り組みたい
- 2 取り組むかどうか検討したい
- 3 取り組むつもりはない
- 4 わからない

【問3で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

問10 農林漁業体験活動に取り組むうえで、何が問題となっていますか。

(以下の1～8の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 参加者の確保が難しい
- 2 具体的な取組方法がわからない
- 3 仕事が忙しく時間の確保が難しい
- 4 地域の協力が十分に得られない
- 5 経費の負担
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 7 特にない
- 8 わからない

ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先

農政局

農政事務所

担当者：

電話番号：

()

Eメールアドレス：

平成22年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 地方調査
農林漁業体験学習の取組（教育ファーム）に関する意識・意向調査
漁業者モニター用

農林水産省
九州農政局

（平成22年5月）

本調査でご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを**回答用紙**にご記入ください。

農林漁業体験活動の意義について

- ◎ 平成17年6月に制定された「食育基本法」及び平成18年3月に閣議決定された「食育推進基本計画」では、「食」に関する関心や理解の増進を図るためには、農林水産物の生産に関する体験活動が重要とされており、「食育」を推進するうえで、自然の恩恵や食に関する人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、一連の農作業等の体験の機会を提供する「教育ファーム」の取組が重要になっています。
- ◎ 具体的には、「教育ファーム」とは、農林漁業者からの指導を受けて、同一作物について年間2日間以上にわたって、2作業以上の農作業等を体験してもらう取組をいいます。
- ◎ 平成20年度に（社）農山漁村文化協会が行ったアンケート調査では、農林漁業体験が「かなりある」と答えた子どもは、①食べ残しが少ない、②郷土への親しみを持っている、③農業に対する理解がある、④ライフスキル（生きるたくましさ）を身につけている。などの結果が出ています。

問1 「教育ファーム」について、ご存じですか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 内容を含め知っている
- 2 名前程度は聞いたことがある
- 3 知らなかった

【農林漁業体験の取組の実態と意向について】

問2 あなたの地域において、農林漁業体験活動について、地域（市町村域）の関係機関・団体等が参集し、話し合いを持つ場（協議会など）がありますか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問3 あなたは、農林漁業体験活動に取り組まれていますか。

※ ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 はい → 問4にお進みください
- 2 いいえ → 問9にお進みください

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問4 その取組は、学校と連携した取組ですか。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 はい
- 2 いいえ

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問5 その農林漁業体験活動はどの様な内容ですか。

(以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 体験の際に、農林漁業者として指導をしている
- 2 同一作物について2つの作業以上の農作業等の体験を実施している
※ 同一作物の2つの作業とは、例えば、コメについて「田植え」と「除草作業」等の作業をいいます。
- 3 同一人物が年間2日以上農作業等の体験を実施している
- 4 農地等で実施している
- 5 学校内農園で実施している
- 6 プランターやバケツ等を活用したポット栽培を実施している
- 7 その他（具体的に方法及び場所を回答用紙に記入してください）

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問6 あなたの取り組まれている農林漁業体験活動について、より一層の内容充実を図るために何が必要ですか。

(以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 地域の関係者からの協力
- 2 取組経費の助成
- 3 参加者増加に向けての取組のPR
- 4 他の地域での取組に係る参考情報
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 6 特にない
- 7 わからない

【農林漁業体験の実施の効果】

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問7 農林漁業体験活動の取組を通してご自身に、どの様な効果がありましたか。
(以下の1～10の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農林漁業に携わっているという誇りが高まった
- 2 農林漁業に対して、より一層の意欲が出てきた
- 3 農作物等に対して、より一層の研究心が芽生えた
- 4 より多くの人との繋がりができた
- 5 消費者の考え方等が以前に比べ、より分かるようになった
- 6 コミュニケーション能力が高まった
- 7 家族が協力して取組を行うことで、家族の間の絆が深まった
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 9 特に効果はない
- 10 わからない

【問3で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問8 農林漁業体験活動の取組を通して地域（集落）に、どの様な効果があったと思いますか。
(以下の1～8の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 取組以前より、地域（集落）全体の活気が増した
- 2 農林漁業体験活動をきっかけとして、都市部との人や団体等の交流が増えた
- 3 農林漁業体験以外の面での地域（集落）と学校との協力関係が深まった
- 4 地域（集落）内において、まちづくりの気運が高まった
- 5 農地の保全に繋がった
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 7 特に効果はない
- 8 わからない

【問3で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

※ 今後の農林漁業体験活動の取組に対する意向について

問9 今後、農林漁業体験活動に取り組みたいと思いますか。
(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 ぜひ、取り組みたい
- 2 取り組むかどうか検討したい
- 3 取り組むつもりはない
- 4 わからない

【問3で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

問10 農林漁業体験活動に取り組むうえで、何が問題となっていますか。

(以下の1～8の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 参加者の確保が難しい
- 2 具体的な取組方法がわからない
- 3 仕事が忙しく時間の確保が難しい
- 4 地域の協力が十分に得られない
- 5 経費の負担
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 7 特にない
- 8 わからない

ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先

農政局

農政事務所

担当者：

電話番号：

()

Eメールアドレス：

平成22年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 地方調査
農林漁業体験学習の取組（教育ファーム）に関する意識・意向調査
流通加工業者モニター用

農林水産省
九州農政局

（平成22年5月）

本調査でご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを**回答用紙**にご記入ください。

農林漁業体験活動の意義について

- ◎ 平成17年6月に制定された「食育基本法」及び平成18年3月に閣議決定された「食育推進基本計画」では、「食」に関する関心や理解の増進を図るためには、農林水産物の生産に関する体験活動が重要とされており、「食育」を推進するうえで、自然の恩恵や食に関する人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、一連の農作業等の体験の機会を提供する「教育ファーム」の取組が重要になっています。
- ◎ 具体的には、「教育ファーム」とは、農林漁業者からの指導を受けて、同一作物について年間2日間以上にわたって、2作業以上の農作業等を体験してもらう取組をいいます。
- ◎ 平成20年度に（社）農山漁村文化協会が行ったアンケート調査では、農林漁業体験が「かなりある」と答えた子どもは、①食べ残しが少ない、②郷土への親しみを持っている、③農業に対する理解がある、④ライフスキル（生きるたくましさ）を身につけている。などの結果が出ています。

問1 食品事業者として、「食育」推進の取組に興味がありますか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 大変、興味がある
- 2 ある程度、興味がある
- 3 あまり興味がない
- 4 興味がない
- 5 どちらともいえない

問2 「教育ファーム」について、ご存じですか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 内容を含め知っている
- 2 名前程度は聞いたことがある
- 3 知らなかった

問3 貴社の存する地域において、農林漁業体験活動について、地域（市町村域）の関係機関・団体等が参集し、話し合いを持つ場（協議会など）がありますか。
（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

【農林漁業体験の取組の実態と意向について】

問4 あなたは、農林漁業体験活動に取り組まれていますか。

※ ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 はい → 問5にお進みください
- 2 いいえ → 問14にお進みください

【問4で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問5 取り組まれている農林漁業体験活動はどのような内容ですか。

（以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 体験の際に、農林漁業者の指導を受けている
- 2 同一作物について2つの作業以上の農作業等の体験を実施している
※ 同一作物の2つの作業とは、例えば、コメについて「田植え」と「除草作業」等の作業をいいます。
- 3 同一人物が年間2日以上農作業等の体験を実施している
- 4 農地等で実施している
- 5 学校内農園で実施している
- 6 プランターやバケツ等を活用したポット栽培を実施している
- 7 その他（具体的に方法及び場所を回答用紙に記入してください）

【問4で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問6 取り組まれている農林漁業体験活動について、より一層の内容充実を図るためには何が必要だと思われますか。

(以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 地域の関係者からの協力
- 2 取組経費の助成
- 3 参加者増加に向けての取組のPR
- 4 他の地域での取組に係る参考情報
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 6 特にない
- 7 わからない

【農林漁業体験の取組の効果について】

【問4で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問7 農林漁業体験活動の取組を通して貴社にとって、どのような効果がありましたか。

(以下の1～9の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 企業のイメージアップに繋がった
- 2 取組参加者の自社製品に対する理解が深まった
- 3 社員教育としての効果があった
- 4 他の団体等との連携による人脈が広がった
- 5 企業の認知度のアップに繋がった
- 6 地域の一員として、地域との交流が深まった
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 8 特に効果はない
- 9 わからない

【農林漁業体験の取組における地域連携について】

【問4で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問8 農林漁業体験活動において、外部からの協力はありますか。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 はい → 問9にお進みください
- 2 いいえ → 問13にお進みください

【問8で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問9 農林漁業体験活動の取組では、どこから協力を得ていますか。

(以下の1～6の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農林漁業従事者
- 2 農林漁業団体
- 3 学校
- 4 自治体
- 5 NPO法人
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください）

【問8で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問10 どの様なきっかけで、協力を得られるようになりましたか。

(以下の1～5の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 地域のサポート組織等の紹介
- 2 連携相手からの貴社への提案
- 3 貴社から個人的知り合いへの依頼
- 4 貴社からの募集への応募
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください）

【問8で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問11 協力により農林漁業体験を行う際の貴社の負担は、どの様に軽減されましたか。

(以下の1～9の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 ほ場の確保に係る負担が軽減した
- 2 体験プログラム作成に係る負担が軽減した
- 3 体験者の指導に係る負担が軽減した
- 4 体験や事前準備に係る労働負担が軽減した
- 5 体験に必要な用具等の確保に係る負担が軽減した
- 6 経費負担の軽減
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 8 特に負担の軽減はない
- 9 わからない

【問8で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

問12 農作業体験活動における協力を契機として、地域との繋がりが他の活動においても広がりましたか。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

【問8で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

問13 農林漁業体験活動において、今後、外部からの協力を得る場合、どの団体等からの協力を希望しますか。

(以下の1～7の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農林漁業従事者
- 2 農林漁業団体
- 3 学校
- 4 自治体
- 5 NPO法人
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 7 特に協力は希望しない

【問4で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

※ 今後の農林漁業体験活動の取組に対する意向について

問14 今後、農林漁業体験活動に取り組みたいと思いますか。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 ぜひ、取り組みたい
- 2 取り組むかどうか検討したい
- 3 取り組むつもりはない
- 4 わからない

【問4で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

問15 農林漁業体験活動に取り組むうえで、何が問題となっていますか。

(以下の1～9の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 指導者の確保が難しい
- 2 具体的な取組方法がわからない
- 3 体験する場の確保が難しい
- 4 時間の確保が難しい
- 5 地域の協力が十分に得られない
- 6 経費の負担
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- 8 特にない
- 9 わからない

ご協力ありがとうございました。

(※ お問い合わせ先は、次ページに記載しています。)

お問い合わせ先

農政局

農政事務所

担当者：

電話番号：

()

Eメールアドレス：

平成22年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 地方調査
農林漁業体験学習の取組（教育ファーム）に関する意識・意向調査
消費者モニター用

農林水産省
九州農政局

（平成22年5月）

本調査でご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを**回答用紙**にご記入ください。

農林漁業体験活動の意義について

- ◎ 平成17年6月に制定された「食育基本法」及び平成18年3月に閣議決定された「食育推進基本計画」では、「食」に関する関心や理解の増進を図るためには、農林水産物の生産に関する体験活動が重要とされており、「食育」を推進するうえで、自然の恩恵や食に関する人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、一連の農作業等の体験の機会を提供する「教育ファーム」の取組が重要になっています。
- ◎ 具体的には、「教育ファーム」とは、農林漁業者からの指導を受けて、同一作物について年間2日間以上にわたって、2作業以上の農作業等を体験してもらう取組をいいます。
- ◎ 平成20年度に（社）農山漁村文化協会が行ったアンケート調査では、農林漁業体験が「かなりある」と答えた子どもは、①食べ残しが少ない、②郷土への親しみを持っている、③農業に対する理解がある、④ライフスキル（生きるたくましさ）を身につけている。などの結果が出ています。

問1 「教育ファーム」について、ご存じですか。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 内容を含め知っている
- 2 名前程度は聞いたことがある
- 3 知らなかった

問2 あなたは、過去1年以内に農林漁業体験活動の取組へ参加したことがありますか。

※ ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

（該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。）

- 1 参加した
- 2 参加していない

問3 お住まいの市町村内で、あなたが参加することができる農林漁業体験活動の取組はありますか。

※ ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問4 あなたは、今後、農林漁業体験活動の取組に参加したいと思いますか。

※ ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- | | | |
|--------------------|---|--------------|
| 1 ぜひ、参加(体験)したい | } | → 問5にお進みください |
| 2 機会があれば、参加(体験)したい | | |
| 3 参加(体験)したいと思わない | | → 問8にお進みください |
| 4 わからない | | → 問9にお進みください |

【問4で「1・2 ～参加(体験)したい」を選ばれた方にお聞きします。】

問5 参加(体験)したい、理由を教えてください。

(以下の1～8の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農林漁業や農作物等に興味があるから
- 2 自然や環境に興味があるから
- 3 自分で育て、収穫したものを食べたいから
- 4 農山漁村地域の活性化に繋がると思うから
- 5 地域の人々との交流を深めたいから
- 6 心の癒しやリフレッシュ効果があると思うから
- 7 自然の中で汗を流すことで、健康に良いと思うから
- 8 その他(具体的に回答用紙に記入してください)

【問4で「1・2 ～参加(体験)したい」を選ばれた方にお聞きします。】

問6 農林漁業体験活動の取組に参加する場合、その体験活動において、どのようなことを要望しますか。

(以下の1～9の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農作業等の方法について、分かりやすく指導してほしい
- 2 農林漁業に取り組む生きがいや苦勞など、農家等の生の声を聞ける機会を設けてほしい
- 3 地域の食文化や農林水産物に関する情報を提供してほしい
- 4 収穫した農産物等を使った料理体験等、農作業体験以外の様々な体験取組を充実してほしい
- 5 参加者間の交流を深める取組を充実してほしい
- 6 体験メニューごとに利用金設定し、選択できるようにしてほしい
- 7 体験における安全性の確保や衛生管理を徹底してほしい
- 8 その他 (具体的に回答用紙に記入してください)
- 9 特にない

【問4で「1・2 ～参加(体験)したい」を選ばれた方にお聞きします。】

問7 農林漁業体験活動の取組に参加する場合、料金はいくらまでなら参加しますか。なお、体験1回・一人当たりの参加費として、お答えください。

(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 0円 | 6 2,500円まで |
| 2 500円まで | 7 3,000円まで |
| 3 1,000円まで | 8 4,000円まで |
| 4 1,500円まで | 9 5,000円まで |
| 5 2,000円まで | 10 5,000円以上 |

【問4で「3 参加(体験)したいと思わない」を選ばれた方にお聞きします。】

問8 参加(体験)したいと思わない、理由を教えてください。

(以下の1～9の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 農林漁業や農作物等に興味がないから
- 2 参加するメリットや利点が分からないから
- 3 時間がない、忙しいから
- 4 農作業等のやり方が分からないから
- 5 交通費・参加費等が負担になるから
- 6 近くに体験できる場所がないから
- 7 農作業等を既に行っているから
- 8 子どもや孫が忙しく自分と都合を合わせて一緒に参加することができないから
- 9 その他 (具体的に回答用紙に記入してください)

※ 問9以降の質問については、中学生以下の子どもにおける農林漁業体験学習の取組（教育ファーム）の推進にあたっての参考とするため、保護者の方の農林漁業体験の必要性に対する考えについてお尋ねします。

問9 あなたのご家族に中学生以下の子ども又は孫がいらっしゃいますか。
(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 いる → 問10にお進みください
- 2 いない

【問9で「1 いる」を選ばれた方にお聞きします。】

問10 子ども又は孫を農林漁業体験活動に参加(体験)させたいと思いますか。
(該当する選択肢の番号を**1つ選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 子ども又は孫に、ぜひ参加(体験)させたい
 - 2 子ども又は孫に、機会があれば参加(体験)させたい
 - 3 子ども又は孫に、参加(体験)させたいと思わない
 - 4 わからない
- } → 問11にお進みください

【問10で「1・2 ～参加(体験)させたい」を選ばれた方にお聞きします。】

問11 子ども又は孫を農林漁業体験活動に参加(体験)させたい理由を教えてください。
(以下の1～9の該当する選択肢の番号を**全て選択**して回答用紙に記入してください。)

- 1 体験を通して、いろいろな知識を得てほしいから
- 2 自然に触れ合う機会を増やしたいから
- 3 情操教育として効果があると思うから
- 4 「食べ物」の大切さを学んでほしいから
- 5 人との交流を通して、コミュニケーション能力を向上してほしいから
- 6 「人」として、たくましさを身に付けてほしいから
- 7 自然の中で汗を流すことで、健康に良いと思うから
- 8 子どもが喜ぶと思うから
- 9 その他(具体的に回答用紙に記入してください)

ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先

農政局

農政事務所

担当者:

電話番号: ()

Eメールアドレス:

教育ファームに関するアンケート（消費者用）

Q1 あなたの性別について、お尋ねします。該当する項目を選択してください。

- ① 男性 ② 女性

農林漁業体験活動の意義について

◎平成17年6月に制定された「食育基本法」及び平成18年3月に閣議決定された「食育推進基本計画」では、「食」に関する関心や理解の増進を図るためには、農林水産物の生産に関する体験活動が重要とされており、「食育」を推進するうえで、自然の恩恵や食に関する人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、一連の農作業等の体験の機会を提供する「教育ファーム」の取組が重要になっています。

◎具体的には、「教育ファーム」とは、農林漁業者からの指導を受けて、同一作物について年間2日間以上にわたって、2作業以上の農作業等を体験してもらう取組をいいます。

◎平成20年度に(社)農山漁村文化協会が行ったアンケート調査の結果、農林漁業体験が「かなりある」と答えた子どもは、①食べ残しが少ない②郷土への親しみを持っている③農業に対する理解がある④ライフスキル(生きるたくましさ)を身につけている。などの結果がでています。

Q2 「教育ファーム」をご存知でしたか。該当する項目に○を付けてください。

- ① 内容を含め知っている。 ② 名前程度は聞いたことがある。 ③ 知らなかった。

Q3 すべての方にお尋ねします。

1年以内に農林漁業体験への参加したことがありますか。該当する項目に○を付けてください。

※ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

- ① 体験したことがある。 ② 体験したことがない。

Q4 農林漁業体験について、すべての方にお尋ねします。

お住まいの市町村内で、あなたが参加することができる農林漁業体験の取組はありますか。該当する項目に○を付けてください。

※ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

- ① ある ② ない ③ わからない

Q5 農林漁業体験について、すべての方にお尋ねします。該当する項目に○を付けてください。

※ここでいう「農林漁業体験」とは、「食」に関わる農作業等の体験とし、植林や料理体験等は含みません。

- ① ぜひ、体験したい。 ② 機会があれば、体験したい。
③ 体験したいと思わない。 ④ わからない。

■次ページにお進みください。

Q6 Q5の問いに、「①ぜひ、体験したい」または「②機会があれば体験したい」と回答された方に、その理由をお尋ねします。該当する項目のすべてに○を付けてください。（複数回答）

Q10 あなたの家族構成について、お尋ねします。該当する項目に○を付けてください。

- ① 中学生以下の子どもがいる。 ② 中学生以下の孫がいる。 ③その他

Q11 Q10の家族構成の問いに、「①中学生以下の子どもがいる」または「②中学生以下の孫がいる」と回答された方に、農林漁業体験活動について、お尋ねします。該当する項目に○を付けてください。

- ① 子どもまたは孫に、ぜひ体験させたい。 ② 子どもまたは孫に、機会があれば体験させたい。
③ 子どもまたは孫に、体験させたいと思わない。 ④ わからない。

Q12 Q11の問いに、「①ぜひ、体験させたい」または「②機会があれば体験させたい」と回答された方に、その理由をお尋ねします。該当する項目のすべてに○を付けてください。（複数回答）

- ① 体験を通して、いろいろな知識を得てほしいから。
② 自然に触れ合う機会を増やしたいから。
③ 情操教育として効果があると思うから。
④ 「食べ物」の大切さを学んでほしいから。
⑤ 人との交流を通して、コミュニケーション能力を向上してほしいから。
⑥ 「人」として、たくましさを身に付けてほしいから。
⑦ 自然の中で汗を流すことで、健康に良いと思うから。
⑧ 子どもが喜ぶと思うから。
⑨ その他（その他の理由を具体的に記入してください）

()

ご協力ありがとうございました。

教育ファーム実践者に対する聞き取り調査票

【調査の趣旨・目的】

実際に、教育ファームに取り組んでいる者(実践者)を対象に、取組内容、地域との連携、経費負担にあたっての工夫点やその効果を具体的に明らかにし、教育ファームの推進を図るうえでの検討資料とする。
また、当該調査で得られた先進的事例については、九州地域教育ファーム推進協議会が作成を予定している「教育ファーム推進方策」において、優良事例としての掲載を検討する。

県・市町村名	県	市町村	実践者名
--------	---	-----	------

1【実践団体及び実践者の分類】

該当する項目に○を付ける。

- | | | | |
|-------------|--------|---------|------|
| ①NPO法人等市民団体 | ②農林漁業者 | ③農林漁業団体 | ④自治体 |
| ⑤幼稚・保育園 | ⑥小学校 | ⑦中学校 | ⑧高校 |
| ⑨大学 | ⑩食品事業者 | ⑪その他() | |

2【取組の実態】

【検証:教育ファームにより効果的に取り組むための参考事例として、取組内容及び実際に取り組む上で工夫している点やその工夫による効果について探る。】

(1)取組の対象者(参加者)について

該当項目のすべてに○を付ける。

(注) 複数の取組を行っており、それぞれに対象者(参加者)が違うために、該当項目が多岐にわたる場合、実践者が力を入れている取組や参加規模が一番大きい取組など、代表的な取組について調査を行うものとする実施する。(1つの取組の場合を除く)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| ①一般公募
(条件なし) | ②一般公募
(成人のみ) | ③一般公募
(子どものみ) | ④一般公募
(親子のみ) |
| ⑤幼稚・保育園児 | ⑥小学生 | ⑦中学生 | ⑧高校生 |
| ⑨大学生 | ⑩その他() | | |

(2)取組のねらい及び内容について

(注) 取組が複数ある場合は、(1)の代表的取組について取組内容の調査を行う。

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| ①取組のねらい
() | ②対象作物
() |
| ③農作業等の体験内容(植え付け、除草、収穫など)
() | ④農作業等の頻度・回数(年間)
() |

(3) 取組うで工夫している点について

(注) 取組の中で工夫している点やその工夫による効果について、調査を行う。

①取組の質の確保及び参加者の増加に向けて、工夫している点とその効果。

(工夫点)

例： PRの方法、収穫物の持ち帰り、参加回数による料金割引の導入、農作業等以外の取組の実施(料理体験・観察会・交流会など)等。

(工夫により得られた効果)

例： 子どもから大人までの参加者の幅が広がった。参加のリピーターが増えた、実践者自身が知識を広げることができた等。

②農作業等体験を他の教科などへ関連付けている実態とその効果。(学校の場合)

(関連付けの実態)

例： 農林漁業体験において、理科の生物観察の授業として関連付けている等。

(関連付けるための工夫点)

例： 学校内で、農作業体験に関する先生方の定期的な会合の開催、従来の教科ごとの単元(カリキュラム)ではなく教科横断的な総合単元(カリキュラム)を作成している等。

(関連付けにより得られた効果)

例： 子どもたちの授業態度が前向きになった。授業内容への理解が深まった等。

3【連携の実態】

【検証：多くの関係者が連携した教育ファームを推進するための参考事例として、実際に取り組んでいる実践者の連携の実態と連携するうえでの工夫している点やその工夫による効果について探る。】

(1) 連携の実態と連携のきっかけについて

①農林漁業体験活動における他の団体等との連携の実態

例： NPO等が食品事業者や自治会などと連携して、体験活動を実施している等。
学校が食に関係する団体等に協力を依頼し実施している等

②連携している場合のきっかけ

例：地域の農林漁業体験活動をサポートする組織からの紹介(ふるさと先生など)。校長先生の個人的な知り合いへ依頼した等。

(2)連携するうえでの工夫している点について

①連携するうえで、工夫している点があるのか。

例：関係者間による定例的な話し合いの開催、次年度の学校のカリキュラムに間に合うように前年度から学校の先生と連携して農作業体験に係るプログラム等の話し合いをしている等。

【4.取組経費】

【検証：教育ファームに取り組むうえでの経費負担について、実際に取り組んでいる実践者の実態と負担軽減のための工夫している点やその工夫による効果について探る。】

経費負担の実態と負担軽減に向けた工夫について

①経費負担の実態

例：実践者の一方的負担、参加者からの徴収と行政からの一部補助により運営等。

②経費の問題点や負担軽減のための工夫点

例：一般参加における体験内容別の料金を明確にして徴収している、学校等における児童・生徒の保護者に対する負担分担をお願い等。